

令和8年度 稲城市校長会



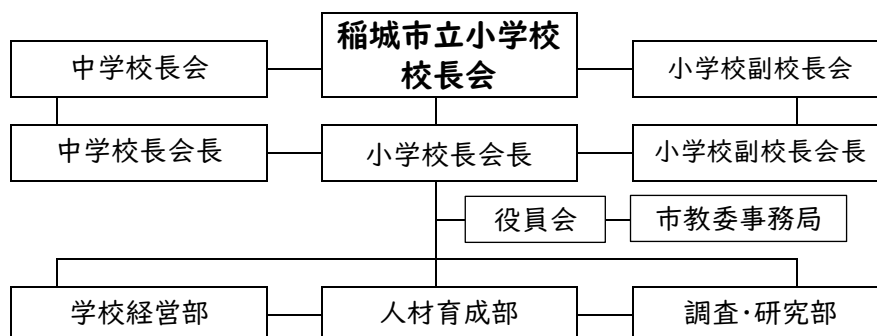
公式キャラクター
稲城なしのすけ

I 活動方針・重点事項等

- (1) 今日的な多様な課題に対し、研究・協議を行い、本市のよりよい教育を実現する。
- (2) 市教委事務局各課と協働し、未来を担う児童の育成に資する適切な教育課程の編成・実施を行う。
- (3) 各職層における人材育成を図ると共に、「はたらきがい」のある職場環境を構築する。

II 活動・取組

(1) 組織



(2) 活動・取組

- ①役員会〔会長（1名）・副会長（3名）・稲教研会長又は相談役（1名）をもって組織〕
 - ・校長会から市教委等へ意見を具申する。
 - ・市教委事務局各課の施策に関する定例校長会に先立つ事前協議を行う。
- ②学校経営部〔学校経営能力の向上に関する事項を担当する。〕
 - ・校長の学校経営能力向上のための企画・運営を行う。
- ③人材育成部〔人材育成に関する事項を担当する。〕
 - ・選考試験に向けた自主研修、若手研修、各職層研修等の企画・運営
 - ・小学校副校長会、市P連等への指導・助言
- ④調査・研究部〔全国・都・市校長会の調査研究に関する事項を担当する。〕
 - ・全国・都校長会の調査・研究に関する事項（都校長会研究発表、人権に関する報告）
 - ・市校長会の調査・研究に関する事項
 - ・予算要望 対市要望に関する事項

III 地区の特色

(1) 本市の概要

人口 95,110 人、世帯数 44,461 世帯で比較的小規模な自治体。

人口の増加に合わせて、学校に通う児童・生徒数は毎年増加傾向にある。

(2) 特色ある教育

第四次稲城市教育振興基本計画（令和7年3月策定）に基づき、①持続可能な社会の創り手を育むESDの推進、②学びの連続性を構築する幼保小中の連携、③伝統文化教育、④会計年度任用職員としてのALTの活用による外国語教育の充実等に取り組んでいる。